

平成24年度事業報告書

公益社団法人 東京生薬協会

平成25年5月9日

I 平成 24 年度の事業報告

■ 1 号事業 生薬に関する普及啓発活動(その 1)

薬用植物や生薬に関する知識や情報を、会員および都民に対し正しく普及し啓発する活動として実施した。

1) 植物観察会

(学術委員会)

①春の植物観察会

- ・開催日：平成 24 年 4 月 22 日（日）10：00～15:00
- ・場 所：目黒・自然教育園
- ・講 師：和田 浩志、磯田 進、小根山 隆祥、高橋 宏之(敬称略)
- ・講 義：「毒草に注意」講師は磯田委員
- ・参加者：57 名
- ・参加費：1,000 円

②秋の植物観察会

- ・開催日：平成 24 年 9 月 16 日（日）10：00～15：00
- ・場 所：埼玉・奥武蔵
- ・講 師：和田 浩志、磯田 進、小根山 隆祥、高橋 宏之(敬称略)
- ・講 義：「観察コースに生育しているシダ植物」講師は和田委員
- ・参加者：43 名
- ・参加費：1,000 円

2) 薬草収穫感謝の会

(総務委員会)

- ・共 催：東京都、(社)東京生薬協会、(社)東京薬事協会、本町生薬会
- ・開催日：平成 24 年 11 月 10 日（土）10：00～15：00
- ・場 所：東京都薬用植物園
- ・講 師：昭和大学薬学部教授 鳥居塚 和生先生
- ・演 題：「和漢食材による病気になりにくい食事法」
- ・参加者：93 名受講
- ・植物園見学参加者：86 名
- ・入園者：935 名
- ・記念品配布者数：300 名(花の苗 300 鉢、お土産袋 300 袋)

3) 第 28 回 生薬に関する懇談会の開催

(学術委員会)

市場に流通する主要生薬について、基原植物、栽培、流通、品質、薬理、臨床などの多面的な視点から研究報告や意見交換を行う場として、産学協同で開催した。

- ・共 催：日本生薬学会関東支部、社団法人東京生薬協会

- ・開催日：平成 24 年 12 月 1 日（土）13：00～18：00
- ・会 場：星薬科大学
- ・テーマ：「麻黄」
- ・参加人数：296 名
- ・参加費：3,000 円、懇親会費：2,000 円

4) 薬用植物・生薬に関する講習会

(学術委員会)

会員及び一般都民を対象に、薬用植物や生薬に対する基本的知識を提供することにより、薬用植物・生薬、薬用植物園などに幅広く興味をもっていただけるよう、開催した。

- ・テーマ：「未病」
- ・開催日：平成 24 年 10 月～平成 25 年 3 月の日曜日（5 回シリーズ）
- ・参加費：1 回 2,000 円 ・参加者合計 108 名

開催日	12：30～14：00	14：15～15：45	参加者数
【第1回】 10月28日 (日)	未病に使用される漢方薬 社団法人東京生薬協会 学術委員会委員長 小根山 隆祥 先生	江戸から150年 今も生きている伝統薬 学校法人 日本大学 評議員 薬剤師 山内 盛 先生	21
【第2回】 11月25日 (日)	未病と食事 一野菜を美味しく食べることの意義— お茶の水女子大学 生活科学部 食物栄養学科 准教授 森光 康次郎 先生	健康を維持するための5ヶ条 いざわ漢法クリニック 院長 伊澤 和光 先生	22
【第3回】 1月27日 (日)	漢方医からみた未病 医療法人社団 金匱会診療所 所長 山田 享弘 先生	心の漢方 一鬱にならないために— 葛西クリニック 院長 葛西 浩史 先生	22
【第4回】 2月24日 (日)	生薬とお酒 薬用酒研究家(養命酒製造(株)社長) 塩澤 太朗 先生	未病のための食生活・健康法 明治薬科大学 名誉教授 奥山 徹 先生	20
【第5回】 3月24日 (日)	女性のための漢方 東海大学 医学部東洋医学講座 准教授 新井 信 先生	薬膳で未病を先防 イスクラ産業株式会社 代表取締役社長 大野 登志生 先生	23

5) ふれあいガーデン事業 (参加者合計：391 名)

(事業管理委員会)

東京都薬用植物園ふれあいガーデンの実施

- ・平成 24 年度は、薬用植物園のサービス向上を目的として、「東京都薬用植物園ふれあいガーデン共同事業体」(社)東京生薬協会、(社)東京薬事協会、北部緑地(株)の3者共同事業体にて、園内 400 m²を対象に薬用植物に関連した事業(下記のイベント等)を実施した。

	開催日	テーマ	講師(敬称略)	参加者数
4月	7日(土)	爽快 アロマセラピー	鈴木悦子	19
	21日(土)	やさしい薬草栽培	鈴木幸子	40
	28日(土)	朝顔を育ててみませんか 入門編	浅岡みどり	16
5月	26日(土)	薬膳 春から夏へ	近藤美春	51
6月	9日(土)	ハーブを楽しむ	小泉美智子	29
7月	14日(土)	ラベンダースティックをつくろう	神蔵いくよ	34
9月	15日(土)	生き活きリース	高橋清美	20
10月	13日(土)	秋の薬膳	近藤美春	29
11月	17日(土)	立冬 薬草の手湯	小根山隆祥	31
12月	19日(水)	木の実・草の実リース作り教室	中山麗子	38
3月	9日(土)	早春の植物	吉澤政夫	28
	16日(土)	香辛料の魅力	S&B食品(磯部)	56

6) 新常用和漢薬集の改訂 (学術委員会)

ホームページ上の新常用和漢薬集に掲載されている生薬を現日本薬局方(16局)と照合する作業を実施し、改訂作業を実施した。公開品目数は、69生薬となった。

■ 1号事業 生薬に関する普及啓発活動(その2) (事業管理委員会)

【東京都薬用植物園受託事業】

東京都薬用植物園の管理事業の全面委託に伴い、今までの実績を生かして薬用植物や生薬に対する知識・情報を都民に対し正しく普及し啓発する活動を積極的に実施した。

1) 東京都薬用植物園の事業管理

(1) 東京都薬用植物園の総合案内を行った。

窓口対応：開園時間帯における来園者対応 : 1,427 件

電話対応：開園時間帯における電話等照会対応 : 1,053 件

園内管理：土、日、祝日対応 114 日

年間来園者数：126,285 人

(2) 栽培補助業務(標本栽培区、温室、育苗その他)： 延べ 2,650 人・年

(3) 調査研究、鑑定、鑑別補助作業(ケシ、アサ、サボテン類、違法ドラッグ、トウゴマ等農作業補助、データ整理、文献調査、計測等の補助業務)：

延べ 270 人・年

(4) 普及啓発事業（詳細は各項）：77 日間実施、延べ参加者数：2,209 名
協会の応援人数延べ：95 人

(5) 印刷物等作成

植物園案内パンフレット	5,000 部
写真で見る絶滅危惧種植物	10,000 部
「四季の薬草」パンフレット	10,000 部
講習会等の参加者用資料、掲示用ポスター類	2,200 部
野外展示用ラベル及び立て札	110 枚
ケシ講座・アサ他	3,200 枚

(6) 東京都薬用植物園建物・施設の管理

保守点検：冷暖房、防火設備、ボイラー、電気設備、給水タンク、温室等

栽培管理：沿道植栽樹木、病虫害駆除、通路の草刈等

清掃：薬事資料館、研修室、標本室、トイレ、廃棄物の処理等

警備：薬事資料館、研修室、収納舎、ケシ・アサ栽培区等

2) 普及啓発・研修業務

(1) 薬草教室の開催（会場：東京都薬用植物園）

薬草教室を年間 8 回実施した。（合計参加者：660 名）

	開催日	講演内容	講師(敬称略) (所属)	参加者数
1回	4月25日(水)	シーボルトと日本の薬草	和田浩志(東京理科大学薬学部講師)	109
2回	5月24日(木)	ネパールと日本を結ぶ食と薬草	南雲清二(星薬科大学名誉教授)	124
3回	6月21日(木)	循環器の病気と漢方	大野修嗣(大野クリニック院長)	73
4回	7月26日(木)	散歩道で薬草を探そう	指田 豊(東京薬科大学名誉教授)	77
5回	8月29日(水)	里山の隠れた薬草	磯田 進(昭和大学薬学部非常勤講師)	76
6回	9月11日(火)	ストレスと漢方	新井 信(東海大学医学部)	52
7回	10月24日(水)	植物成分(精油)の薬効	北島潤一(昭和薬科大学教授)	80
8回	11月21日(水)	奥多摩の薬草	吉澤政夫(森林インストラクター)	69

(2) 薬草観察会の開催（講師：東京都薬用植物園職員）

① 春の薬草観察会

平成 24 年 5 月 27 日(日) 東京都薬用植物園 70 名

② 秋の植物観察会

平成 24 年 9 月 30 日(日) 東京都薬用植物園 41 名

(3) 薬草の普及啓発講座（合計参加者：1,057名）

平成24年度は以下のような薬用植物に関する普及啓発講座を実施した。

	開催日	テーマ	講師(敬称略)	協会	草屋舎	参加人数
4月	7日(土)	爽快 アロマテラピー	鈴木悦子		○	19
	21日(土)	やさしい薬草栽培	鈴木幸子		○	40
	28日(土)	朝顔を育ててみませんか 入門編	浅岡みどり		○	16
5月	1日(火)~25日(金)	ケシのパネル展	展示	○		
	12日(土)・13日(日)	ケシのミニ講座	薬用植物園職員	○		153
	26日(土)	薬膳 春から夏へ	近藤美春		○	51
6月	9日(土)	ハーブを楽しむ	小泉美智子		○	29
7月	14日(土)	ラベンダースティックをつくろう	神蔵いくよ		○	34
	22日(日)	薬草クイズラリー	東京生薬協会	○		190
8月	17日(金)	夏休子供植物教室（葉っぱを使って絵を描こう）	北川重美、中山麗子	○		40
9月	15日(土)	活き活きリース	高橋清美		○	20
10月	11日(木)	薬になる動物と植物	清水虎雄	○		52
	13日(土)	秋の薬膳	近藤美春		○	29
11月	17日(土)	立冬 薬草の手湯	小根山隆祥		○	31
12月	19日(水)	木の実・草の実リース作り教室	中山麗子		○	38
1月	24日(木)	万葉集と薬草	木下武司（帝京大）	○		171
2月	13日(水)	健康講座（薬事協との共催） 生薬を用いた効果的なお風呂の入り方	(株)バスクリン	○		60
3月	9日(土)	早春の植物	吉澤政夫		○	28
	16日(土)	香辛料の魅力	S&B食品（磯部）		○	56

(4) 研修業務の実施

東京都が主催する薬事監視員、警察、薬学生、医学生対象の研修会を補助した。

対 象	開催回数	対象者数
① ケシ特別講座	16回	1,008名
② 薬務、保健所等研修	13回	232名
③ 警察、薬防協等研修	17回	368名
④ 学生研修	7回	38名
⑤ 日本薬剤師研修センター漢方認定研修	2回	45名
⑥ 一般(団体)指導	16回	343名

3) 薬用植物の栽培

- ①薬事監視業務の一環とし、ケシ、大麻の栽培補助、農作業補助を行った。
- ②ケシ、大麻以外の薬用植物の栽培管理、農作業全般を行った。

場 所：東京都薬用植物園

期 間：通年

4) 薬用植物の収集、保存及び展示

東京都職員の指示により行った。

- ①種子交換：種子調整・整理、交換リスト作成、種子の受付発送を行った。
- ②さく葉作成：種の同定、さく葉の作成、リスト作成、保管整理を行った。
- ③生薬標本の作成：種の同定、標本作成、リスト作成、保管整理を行った。
- ④資料館に薬用植物の標本類の展示及びラベルの整備を行った。

5) 鑑定、鑑別補助

東京都職員が行う植物鑑定、鑑別試験のために必要な、文献調査、資料の提供及び鑑別用標本の購入保管を行った。

■ 2号事業 薬用植物栽培の奨励、育成、指導

1) 薬用植物指導員認定者のフォローアップ研修

(学術委員会)

既認定指導員を対象に、より実践的に薬用植物に関する説明や案内ができるように、さらに協会活動に積極的に参加・協力していただくよう研修を実施した。

・研修内容：(植物園見学と薬木調査を実施)

春	5月12日(土)	東京都薬用植物園	参加者：16名
夏	9月29日(土)	東京薬科大学 薬草園	参加者：16名
秋	10月14日(日)	東京都薬用植物園	参加者：6名
冬	2月24日(日)	東京都薬用植物園	参加者：6名
			合計：44名

■ 3号事業 生薬利用開発をはかるための調査

計画はありません。

■ 4号事業 生薬資源・流通生薬の調査、研究

1) 日本薬局方原案審議委員会への参加

(学術委員会)

(1)生薬等(A)委員会3月、5月、7月、10月、12月、2月に開催、菊地氏・山路氏(ツムラ)が参加し、生薬等(B)委員会4月、7月、9月、11月、1月、3月に開催、武田氏(ツムラ)が参加し、各委員会の討議の結果が学術委員会にて報告された。

- (2)第 16 改正日本薬局方 第一追補の収載(2012 年 10 月 1 日施行)
新規収載品目数：5 品目(3 生薬、2 漢方処方エキス)
【社団法人東京生薬協会で担当収載および協力】
- 基原・生薬の性状：3 生薬(100%)
 - 確認試験：3 生薬(100%)
 - 収載に関わる試薬・試液(100%)
 - 既収載確認試験 (TLC 法) の変更(全てに関わる)
- (3)第 17 改正日本薬局方 原案作成要領(2012 年 1 2 月 15 日発出)
【社団法人東京生薬協会で担当収載および協力】
- 日本薬局方原案審議委員会総合小委員会に参加。
生薬、試験法および試験試薬部分を主に担当(生薬等委員会代表：菊地氏)
- (4)日本薬局方外生薬規格 2012 (2012 年 10 月 30 日通知)
- 収載品目数：56 品目(生薬および生薬末)
既収載の改正：38 品目
新規収載：18 品目
- 【社団法人東京生薬協会で担当収載および協力】
- 検討 WG (6 月, 7 月, 9 月, 1 1 月, 1 2 月, 2 月) および検討会議(厚生労働省：6 月)に開催、菊地氏が参加し、全品目の協力担当および、全電子データ(案)の作成を担当。
- (5)第 16 改正日本薬局方 第二追補の収載原案作成(2014 年 10 月 1 日施行予定)
- 各条品(新規収載)：
ニクジュヨウ(100%)
シャカンゾウ(100%)
ボウショウ及び無水ボウショウ(100%)<JP17 収載へ見送り>
 - 生薬試験方の新規収載(定量 NMR：q-NMR)、参考情報の変更(q-NMR)に協力
 - 試薬・試液：q-NMR 試薬(4 成分)、分離確認用パラベン類(3 試薬)、
生薬定量用エフェドリン塩酸塩
 - 既収載確認試験 (TLC 法) の変更(全てに関わる)

2) 生薬栽培地の視察・情報収集活動の実施

(事務局)

(1)秋田県八峰町にて薬用植物栽培地等の視察及び研修と調印式を実施した。

- 日 時：平成 24 年 6 月 7 日(木)～9 日(土)
- 見学地：世界自然遺産緩衝地域、白神山地二つ森
- 講 演：「日本産生薬の供給について」
- 講 師：(株)金井藤吉商店社長 金井藤雄先生
- 交流会：薬用植物等の栽培地としての可能性等の意見交換

- ・調印式：生薬の栽培に関する連携協定締結
- ・参加者：協会側 16人(会長、事業管理委員長他)
八峰町 21人(町長、町議会議員、たばこ栽培農家関係者)

(2)秋田県美郷町にて薬用植物栽培地等の意見交換と調印式を実施した。

- ・日 時：平成 25 年 2 月 4 日(月)～5 日(火)
- ・交流会：薬用植物等の栽培地としての可能性等の意見交換
- ・場 所：名水市場 勇太郎「國之譽ホール」
- ・調印式：「生薬の里 美郷」構想実現のための連携協定締結
- ・参加者：協会側 5人(会長、専務理事、事業管理委員長他)
美郷町 29人(町長、町議会議員、美郷町商工会、
秋田おばこ農業協同組合他)

■ 5号事業 講演会、研修会及び懇談会の開催等並びに会報の発行

国民(都民)及び会員に有益な講演会・研修会等を協会活動として開催し、また協会活動を会員及び対外的に広報する活動を積極的に実施した。

1) OTC医薬品とセルフメディケーションの啓発活動 (事務局)

- ・主 催：6 団体（東京生薬協会、東京薬事協会、東京都家庭薬工業協同組合、
日本 OTC 医薬品協会、東京都薬剤師会、東京都医薬品登録販売者協会）
- ・後 援：東京都、厚生労働省
- ・協 賛：くすりの適正化協議会、日本一般医薬品連合会、東京商工会議所千代田支部
- ・開催日：平成 24 年 9 月 4 日（火）～5 日（水）
- ・会 場：新宿西口地下広場イベント会場
- ・出展社：34 社
- ・来場者：2 日間で約 3 万人
- ・イベント内容：模擬店舗、アンケート調査（約 1,100 部）、クイズラリー(1300 袋)
- ・薬の起源等に関する紙芝居：参加者 300 名

2) 会報の発行 (7月、2月) (広報委員会)

- ・生薬や薬用植物に関する最新情報や薬用植物園に関する情報を提供し、また協会の活動状況をお知らせするために年 2 回発行し、会員及び関係団体等へ配布した。
- ・発行部数：350 部

3) 協会ホームページの更新

(広報委員会)

- ホームページでの「お花の見頃情報」や「最新イベント情報」などを随時更新した。
- 協会に関する基本情報についても更新した。
- 第16局改正に伴い、既掲載の「常用和漢薬集」の内容を見直し、局方に準じた内容にした。(69生薬)
- ホームページへのアクセス状況

	(訪問数)	(ユーザー数)	(ページビュー数)
2011.4.1~2011.9.30	3,067	1,718	12,144
2011.10.1~2012.3.31	2,898	1,517	11,597
2012.4.1~2012.9.30	5,470	2,875	25,155
2012.10.1~2013.3.31	10,763	5,512	39,573

2012.4.1~2013.3.31の6か月間は訪問数、ユーザー数、ページビュー数ともに大幅に増加している。また、2012.10.1~2012.12.31の3か月間も順調に増加している。

■ 共益事業

主に会員向けに行われる事業で、会員の親睦や情報交換を図る目的で実施した。

1) 賀詞交歓会の実施

(事務局)

- 開催日：平成25年1月22日(火)
- 会場：神田明神・明神会館
- 出席者：65名

2) 薬用植物生け花展・標本展の実施

(総務委員会)

「薬と健康の週間」(東京都)行事の一環として、主催の薬祖神奉賛会に協力して実施した。

- 実施日：平成24年10月17日(水)
- 会場：昭和薬貨ビル 2F
- 2階直会会場に出展した。(3社、6人)
- 出展：秋の七草、薬用植物説明パネル及び種子標本を展示した。

2) MCMIA(現代化中医薬国際協会)との交流

(事務局)

- 平成24年8月に香港で開催された展示会 ICMCM で東京都薬用植物園のポスターを掲示し、先方幹部との情報交換を行った。

II. 総会、理事会、委員会等開催

通常総会	2回	5月	3月				
臨時総会	1回	2月					
理事会	4回	5月	11月	2月	3月		
会計・業務監査	1回	5月					
総務委員会	3回	5月	10月	2月			
公益法人化作業部会	4回	6月	7月	9月	1月		
学術委員会	6回	4月	6月	10月	12月	2月	3月
広報委員会	4回	6月	8月	12月	2月		
事業管理委員会	5回	5月	8月	9月	12月	2月	
事業管理委員会 WG	6回	4月	6月	7月	10月	11月	1月
60周年記念事業準備委員会	3回	8月	9月	3月			
薬用植物栽培化準備委員会	3回	1月	2月				

III. 会費、会員数及び平成 24 年度入退会

1. 会費収入 : 会員 88 名 (合計 7,904 円)
2. 期首会員数 : 85 名
3. 期末会員数 : 88 名
4. 入 会 (4 件 : 法人正会員 2 件、個人正会員 2 件)
5. 退 会 (1 件 : 法人正会員)

以 上